

# 平成22年度 林業技術センター 研修実施計画の概要

当センターにおける林業関係研修は、「岩手県林業技術センター条例」等に基づき実施しておりますが、平成22年度の実施計画が決まりましたのでお知らせします。

## 重点事項 作業路の企画・設計・ 施工に関する研修

国では、平成21年12月に発表した「森林・林業再生プラン」の検討事項の筆頭に「林業経営・技術の高度化」を掲げ、「森林の整備や木材生産の効率化に必要な、路網と林業機械を組合わせた作業システムの導入」を目的とした「路網・作業システム」を検討することにしており、また、「いわて県民計画」では、「農林水産業の未来を開く経営体の育成」の中

で、「経営資源（生産基盤）の有効かつ効率的な活用」として「林内路網など生産基盤整備の推進」を掲げております。  
これらの施策を受けて、当センターとしても、平成22年度の研修重点事項を「作業路の企画・設計・施工に関する研修」とし、カリキュラムの充実を図っております。

### 専門研修

#### 1 森林組合等職員養成研修 (1) 市町村林業担当職員研修

市町村の林業担当職員を対象に、森林や保安林等の許認可事務など、特に市町村行政に関係の深い内容を中心に、初級研修を実施します。

#### (2) 低コスト作業路作設研修

山腹崩壊など災害発生の遠因となってきた従来の片切り残土捨て方式の作業路開設ではなく、「低コストで崩れにくい作業路」を開設するための作設方法について、ルートを取り方、線形、現地発生材を活用した施工方法など、岩手大学農学部等

と連携協力して研修を実施します。

#### (3) GIS等活用森林管理技術研修

平成22年度に本県の森林資源管理システムが更新されることから、このシステムを活用した森林管理技術等について研修を実施します。

#### 2 林業機械研修

林業労働力の質的向上と労働安全の確保を図るため、内容を充実しながら下記の研修を実施します。



写真1 グラップルによる積込み

### 林業機械研修実施計画

研修区分	対象者	時期	日数	募集人員
ア ショベルローダー等運転技能研修	林業・ 林産業 従事者	5.24～5.28	5日	10名
イ 車両系建設機械運転技能研修		①6.7～6.17	①6日(2回)	①40名
		②10.4～10.9	②6日(1回)	②20名
ウ 林業架線作業主任者研修		6.28～7.16	15日	20名
エ 高性能林業機械オペレーター養成研修		8.23～9.10	15日	12名程度
オ 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能研修		10.20～10.22	3日	20名
カ はい作業主任者技能研修		11.10～11.11	2日	20名

### 3 林業特技研修

近年の研究成果や技術の定着並びに特に普及促進が求められている内容等について、林業・林産業関係者等を対象に研修を実施します。

#### (1) シイタケ栽培技術研修

乾シイタケ生産の低迷が続いており、ピーク時の4分の1まで生産量が落ち込んでいますが、この危機的な状況を打開するため、地域の生産者や新規参入者へのバックアップを強力に推進するとともに、



写真2 ハーベスタによる林内での伐倒

#### (2) 木材加工技術研修

耐震性や耐久性に優れた長期優良住宅への取組みを推進するためには、性能の担保に木材乾燥が不可欠ですが、県内の製材工場においては乾燥に対する理解が行き届いておらず、今尚乾燥材比率が非



写真3 シイタケ発生中のホダ場

に、平成21年度に作成した「乾シイタケ生産のてびき」を活用し、シイタケ栽培技術の向上研修を実施します。

常に低い現状にあります。このため、木材加工業者を対象に、人工乾燥の基礎から実践に至る木材乾燥技術を中心とした加工技術研修等を実施します。

(3) 未利用木質資源システム構築研修  
間伐材や林地残材等の木質バイオマス利用技術について、関係機関等と協議しながら現地研修会やシステム検討会を開催します。

(4) 林業技術普及セミナー  
地域の特定課題や突然の病害虫の大発生など、その時折の喫緊の課題について、適宜必要に応じて「林業技術普及セミナー」を開催します。

#### 施設の利用

本県の森林・林業の振興を図るため、関係団体等が実施する研修会等に当センターの講義室等をご利用いただくことができます。

林業技術センター研修部